

ニュージーランド国立博物館 テ・パパ・トンガレワの現在

先住民族と博物館の関係を考える

2024年

日時

10月26日土

14:00~16:30

会場

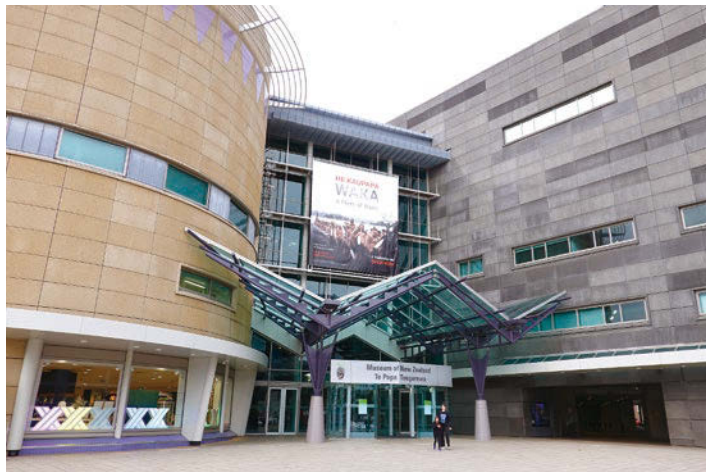
北海道大学

クラーク会館2F 大集会室1



北大会場・
オンライン配信
(事前申込制)

参加無料



■ 定員

北大会場： 60名
オンライン：200名

■ 受付方法

受付フォーム(下記URL、または右のQRコード)へアクセスいただき、必要事項をご記入の上お申込みください。

URL ▶ <https://forms.gle/aTeZ92qjxUwGvHa68>



受付期限 / 2024年10月22日(火) 24:00まで

主催

ニュージーランド国立博物館テ・パパ・トンガレワの現在

先住民族と博物館の関係を考える

登壇者

深山 直子
(東京都立大学人文社会学部)

小坂田裕子
(中央大学法務研究科)

立石 信一
(アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部 国立アイヌ民族博物館)

山崎 幸治
(北海道大学アイヌ・先住民研究センター)

村木 美幸
(アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部)

秋山 里架
(アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部)

Migoto Eria
(Museum of New Zealand Te Papa Tongarewa, Head of Mātauranga Māori)
(順不同)

登壇者たちは、ニュージーランド国立博物館

テ・パパ・トンガレワ(テ・パパ)を訪問し、展示を見たり、

スタッフへのインタビューを行ったりした経験を持ちます。

そこで学んだ知見にもとづいて、同博物館の現在を報告します。

本シンポジウムは、先住民族と博物館との関係を考える

一助となることを目指します。

PROGRAM

開会挨拶：山崎 幸治、Migoto Eria (動画)

趣旨説明：小坂田裕子

1 「アオテアロア・ニュージーランドの先住民族マオリと博物館」
深山 直子

2 「テ・パパにおけるマナ・タオンガ・ポリシー：所有者から守護者への転換」
小坂田裕子

3 「ニュージーランドのミュージアムにおける展示の現在：テ・パパを中心に」
立石 信一

4 「テ・パパ所蔵アイヌ・コレクションとアイヌ文化振興」
山崎 幸治・村木 美幸・秋山 里架

閉会挨拶：村木 美幸

お問い合わせ

北海道大学アイヌ・先住民研究センター

e-mail: ainu@let.hokudai.ac.jp

website: <https://www.cais.hokudai.ac.jp/>



※定員に達し次第、受付終了となります。 ※受付されていない方の来場、入室はご遠慮いただきます。 ※受付期限後の受付は出来かねますので、何卒ご了承ください。

本シンポジウムは、科研費(20K20746)の研究成果の一部です。

また、国立アイヌ民族博物館と北海道大学アイヌ・先住民研究センターが2020年に締結した「学術連携・協力に関する協定」による事業の一部です。